



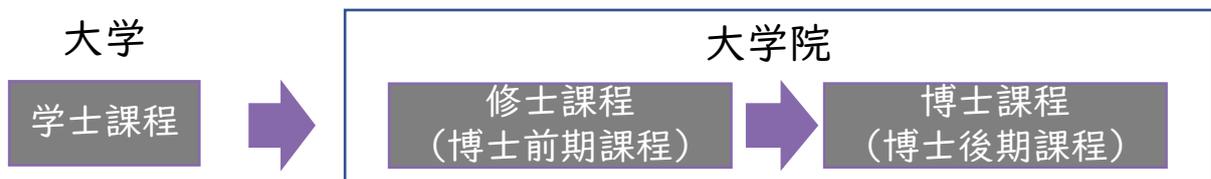
## 社会人からの大学院進学

### 【はじめに】

私は大学を卒業し、1年間社会人（心理職）として働いた後に、大学院に入学しました。そんな私が社会人から大学院に進学することについて、メリット、デメリットを交えて紹介します。

### 【大学院について】

大学院は基本的に2年間の修士課程と3年間の博士課程で構成されています。大学院への進学は、大学の学部にて在籍中に入学試験に合格し、学部を卒業後、そのまま大学院に進学するというのが一般的ですが、一度就職してから大学院に入学する方も一定数います。



### 【社会人から大学院に進学することのメリット・デメリット】

#### メリット&制度

- 社会人経験を活かすことができる。
- 金銭的に余裕を持って通いやすい。
- 長期履修制度や社会人枠で受験できる。

#### デメリット

- 仕事と学業の両立が難しい。
- 入試対策が難しい。

社会人から大学院に通うには、仕事をしながら通うか、休職や退職して大学院に専念するかの2通りがあります。職種にもよりますが、社会人としての経験や知識は大学院での講義や研究にとっても役立ちます。教育現場で働いている人が大学院で教育学を専攻するように、職種と専攻する学問に共通点が多い場合は、教育現場での知識や経験がそのまま大学院での研究や講義に役立ってくることでしょう。職種と学問が直接的に繋がってなくても、働く中で身につけたタスク管理は大学院入学後のタスク管理にとっても役立ってきます。また、社会人からでも大学院に入学しやすくなるような、長期履修制度や社会人枠入試といった制度があります。長期履修制度は通常在籍年数の学費で通常在籍年数以上、大学院に在籍することができる制度で、社会人枠入試は一般枠入試とは異なる受験枠で入試を受けることができる制度です。

仕事を続けながら大学院に通う場合、仕事と大学院の両立がとても大切です。人によっては仕事に加えて、家事や育児、介護なども加わってくることでしょう。仕事や大学院に割く時間や労力を調整、管理し続けることが中々大変です。

大学卒業後、就職するか大学院に進学するか、迷われている場合は、一度就職し、働く中で改めて大学院に行きたいのか考え直すという選択もあると思います。皆さんそれぞれが希望する進路を歩むことを願っています。

(地域共創研究科 MI)